



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日

上場会社名 ワンダープラネット株式会社 上場取引所 東
コード番号 4199 URL <https://wonderpla.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 常川 友樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 彰紀 TEL 052-265-8792
定時株主総会開催予定日 2024年11月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2024年11月27日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年8月期の業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	2,449	△29.3	121	142.9	113	301.2	92	—
2023年8月期	3,464	1.2	49	—	28	—	△236	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	36.26	36.22	13.6	5.4	4.9
2023年8月期	△98.45	—	△44.7	1.1	1.4

（参考）持分法投資損益 2024年8月期 —百万円 2023年8月期 —百万円

（注）2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	2,146	736	33.7	284.40
2023年8月期	2,061	629	30.5	247.57

（参考）自己資本 2024年8月期 724百万円 2023年8月期 629百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	298	248	13	1,330
2023年8月期	△331	△255	152	769

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。当該理由等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期	2,594,412株	2023年8月期	2,592,412株
② 期末自己株式数	2024年8月期	48,632株	2023年8月期	48,632株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	2,544,613株	2023年8月期	2,398,447株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、本日TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

また、2024年10月16日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。その模様（動画）及び説明内容（書き起こし）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社は「楽しいね！を、世界中の日常へ。」というミッションを掲げ、世界中の一人でも多くの人々の日常に、家族や友達と「楽しいね！」と笑いあえるひとときを届け、国・言語・文化・年齢・性別等あらゆる壁を越えて誰もが楽しめるプロダクト・サービスを創り、コミュニケーションを通じた「笑顔」を世界の隅々まで広げることを目指しております。

当事業年度の売上高の状況につきましては、「クラッシュフィーバー」日本版が9周年記念キャンペーンの好調な推移等で前年同期に対して第4四半期会計期間は増収、通期では同程度の着地と堅調に推移したものの、収支改善を目的とした「クラッシュフィーバー」海外版の2023年12月のサービス終了、「アリスフィクション」の2024年9月のサービス終了、また2024年3月にサービス終了した「ジャンプチ ヒーローズ」日本版及び繁体字版の影響で、前年同期比で大幅な減収となりました。一方で、2024年6月に国内サービスを開始した株式会社ゲームフリークとの共同開発タイトル「パンドランド」を始めとする協業先との共同開発タイトルは、概ね想定どおりの開発進捗となり開発にかかる売上高は安定的に推移し、前年同期比で増収となりました。なお、「パンドランド」は、当社の拠出費用抑制を重視しそのトレードオフで事業利益が緩やかな拡大となる座組を採用していることから、サービス開始後のアプリ内課金等による通期業績に与える影響は限定的となりました。

営業利益、経常利益については、中長期的な収益の拡大に向けて引き続き新規開発に取り組んでいる一方で、前述のとおり「パンドランド」と同様に、2025年以降も年1本程度の新規リリースを目処に開発中の協業先との有力IPタイトル2本も当社の拠出費用抑制を重視した座組を採用していること、「クラッシュフィーバー」日本版の底堅い利益貢献、「アリスフィクション」の損失幅の大幅な減少等により、「ジャンプチ ヒーローズ」日本版及び繁体字版のサービス終了による減益影響等を上回り、前期同期比で大きく増益となりました。

当期純利益につきましても、営業利益、経常利益が増益となったことにより、前年同期比で黒字転換となりました。

この結果、当事業年度の売上高は2,449,916千円（前年同期比29.3%減）、営業利益は121,002千円（前年同期比142.9%増）、経常利益は113,242千円（前年同期比301.2%増）、当期純利益は92,261千円（前事業年度は当期純損失236,130千円）となりました。

なお、当社はエンターテインメントサービス事業（注）の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注）2024年9月1日より、従来「エンターテインメントサービス事業」としていたセグメントの名称を「モバイルゲーム事業」に変更しておりますが、本資料においては従来の名称に統一して記載しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末の流動資産は1,830,985千円となり、前事業年度末に比べ168,158千円増加しました。これは主に、売掛金が286,065千円減少したものの、現金及び預金が300,697千円、仕掛品が84,227千円増加したことによるものであります。

固定資産は315,478千円となり、前事業年度末に比べ83,500千円減少しました。これは主に、運営権が70,000千円減少したことや、繰延税金資産が17,713千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,146,463千円となり、前事業年度末に比べ84,658千円増加しました。

（負債）

当事業年度末の流動負債は963,777千円となり、前事業年度末に比べ47,297千円減少しました。これは主に、未払金が155,137千円増加したものの、未払消費税等の減少等によりその他の流動負債が120,506千円、1年内償還予定の社債が62,000千円減少したことによるものであります。

固定負債は445,814千円となり、前事業年度末に比べ24,841千円増加しました。これは主に、社債が196,000千円減少したものの、長期借入金が220,841千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,409,591千円となり、前事業年度末に比べ22,456千円減少しました。

（純資産）

当事業年度末の純資産は736,871千円となり、前事業年度末に比べ107,114千円増加しました。これは主に、繰越利益剰余金が92,261千円増加したことや、新株予約権が12,852千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ560,697千円増加し、1,330,108千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、298,889千円（前事業年度は331,237千円の使用）となりました。これは主に、売上債権の減少額286,065千円、税引前当期純利益の計上113,242千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、248,363千円（前事業年度は255,159千円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出180,000千円があったものの、定期預金の払戻による収入440,000千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、13,444千円（前事業年度は152,308千円の獲得）となりました。これは主に、社債の償還による支出258,000千円、長期借入金の返済による支出235,820千円があったものの、長期借入れによる収入500,000千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年8月期における見通しは以下のとおりであります。

「クラッシュフィーバー」

運営10年目を迎え、ユーザー復帰に向けたプロモーションを中心に実施する等、再成長を目指し、前期比で増収増益に取り組んでまいります。

「パンドランド」

投資先行の状況にあるものの利益貢献に転じられるよう取り組み、投資対効果を合わせる改善に努め、投資対効果を確認しながら事業規模拡大に転換する方針で取り組んでまいります。

「新規開発」

新規開発につきましては、『カジュアル』×『長期運営』×『グローバル』×『IP活用』を軸にしたタイトル開発に努めてまいります。中長期的な収益の拡大に向けて、2025年以降も年1本程度を目処とした新規リリースに取り組んでまいります。具体的には、協業先との有力IPタイトル2本を開発中となっており、開発売上高を想定する一方で開発進捗により開発費用が増加する見込みとなりますが、通期での営業利益黒字を想定し、キャッシュ・フローのバランスを図りながらコントロールしてまいります。

会社全体では、前期に引き続き、通期での営業黒字を目指す方針であります。しかしながら、近年の世界のモバイルゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が以前にも増して著しく、タイトルの業績動向を精緻に予測することがより困難であることから、会社全体での合理的かつ信頼性のある業績予想の策定及び公表が困難であると考え、2025年8月期の業績予想を非開示といたします。期間の経過等により、適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能になり次第、業績予想を速やかに開示することといたします。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、将来の財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社を取り巻く事業環境を勘案して、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としておりますが、現状では事業拡大のための投資に充当していくことが株主に対する最大の利益還元につながるものと考えております。

このことから、当面の間は内部留保の充実を図る方針であり、内部留保資金につきましては、将来の成長に向けた運転資金として有効に活用していく予定であります。現時点においては配当実施の可能性及びその実施時期等につきましては未定とさせていただきます。

なお、剰余金の配当を行う場合には、年一回の期末配当を考えており、配当の決定機関は株主総会であります。また、当社は取締役会の決議によって、毎年2月末日を基準日として中間配当をすることができる旨を定款に定めております。

上記の方針を踏まえた上で、当期の配当につきましては無配とし、次期の配当につきましても現時点で次期業績予想の合理的な数値算定が困難であることから無配としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,029,411	1,330,108
売掛金	567,960	281,894
仕掛品	574	84,802
前渡金	17,458	24,543
前払費用	32,695	34,145
その他	14,727	75,491
流動資産合計	1,662,826	1,830,985
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,826	11,025
工具、器具及び備品（純額）	6,420	11,041
有形固定資産合計	18,246	22,066
無形固定資産		
運営権	256,666	186,666
無形固定資産合計	256,666	186,666
投資その他の資産		
投資有価証券	574	0
関係会社株式	0	—
長期前払費用	704	—
繰延税金資産	82,390	64,677
その他	40,395	42,066
投資その他の資産合計	124,064	106,744
固定資産合計	398,978	315,478
資産合計	2,061,805	2,146,463

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,965	59,872
1年内償還予定の社債	258,000	196,000
1年内返済予定の長期借入金	240,288	283,627
未払金	149,088	304,225
未払費用	4,421	213
未払法人税等	18,187	4,747
前受金	130,457	81,821
預り金	10,098	20,366
賞与引当金	27,666	—
株式給付引当金	—	3,509
その他	129,902	9,395
流動負債合計	1,011,075	963,777
固定負債		
社債	236,000	40,000
長期借入金	184,973	405,814
固定負債合計	420,973	445,814
負債合計	1,432,048	1,409,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	573,229	574,229
資本剰余金		
資本準備金	1,180,522	1,181,522
資本剰余金合計	1,180,522	1,181,522
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,027,027	△934,765
利益剰余金合計	△1,027,027	△934,765
自己株式	△96,967	△96,967
株主資本合計	629,757	724,019
新株予約権	—	12,852
純資産合計	629,757	736,871
負債純資産合計	2,061,805	2,146,463

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,464,236	2,449,916
売上原価	2,781,495	1,732,491
売上総利益	682,740	717,424
販売費及び一般管理費	632,924	596,422
営業利益	49,816	121,002
営業外収益		
為替差益	1,334	61
物品売却益	302	129
還付加算金	666	—
ポイント還元収入	2,091	886
その他	195	155
営業外収益合計	4,590	1,232
営業外費用		
支払利息	5,976	3,603
社債利息	3,060	2,121
株式交付費	8,975	—
社債発行費	2,119	—
新株予約権発行費	—	2,385
固定資産除却損	0	0
違約金	6,000	—
その他	48	882
営業外費用合計	26,179	8,992
経常利益	28,227	113,242
特別損失		
関係会社清算損	1,641	—
特別損失合計	1,641	—
税引前当期純利益	26,586	113,242
法人税、住民税及び事業税	3,713	3,267
法人税等調整額	259,003	17,713
法人税等合計	262,717	20,980
当期純利益又は当期純損失（△）	△236,130	92,261

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		892,583	32.1	715,134	39.4
II 経費	※	1,889,487	67.9	1,101,584	60.6
当期総製造費用		2,782,070	100.0	1,816,718	100.0
期首仕掛品棚卸高		—		574	
合計		2,782,070		1,817,293	
期末仕掛品棚卸高		574		84,802	
当期売上原価		2,781,495		1,732,491	

(注) ※ 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
プラットフォーム手数料 (千円)	613,318	344,724
外注費 (千円)	831,779	423,586

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、実際原価による個別原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	354,219	961,512	961,512	△790,896	△790,896
当期変動額					
新株の発行	213,850	213,850	213,850		
新株の発行（新株予約権の行使）	5,160	5,160	5,160		
当期純損失（△）				△236,130	△236,130
当期変動額合計	219,010	219,010	219,010	△236,130	△236,130
当期末残高	573,229	1,180,522	1,180,522	△1,027,027	△1,027,027

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△96,967	427,868	427,868
当期変動額			
新株の発行		427,700	427,700
新株の発行（新株予約権の行使）		10,320	10,320
当期純損失（△）		△236,130	△236,130
当期変動額合計	—	201,889	201,889
当期末残高	△96,967	629,757	629,757

当事業年度（自 2023年9月1日 至 2024年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	573,229	1,180,522	1,180,522	△1,027,027	△1,027,027
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	1,000	1,000	1,000		
当期純利益				92,261	92,261
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	1,000	1,000	1,000	92,261	92,261
当期末残高	574,229	1,181,522	1,181,522	△934,765	△934,765

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△96,967	629,757	—	629,757
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）		2,000		2,000
当期純利益		92,261		92,261
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			12,852	12,852
当期変動額合計	—	94,261	12,852	107,114
当期末残高	△96,967	724,019	12,852	736,871

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	26,586	113,242
減価償却費	104,571	77,235
賞与引当金の増減額（△は減少）	27,666	△27,666
受取利息及び受取配当金	△13	△70
支払利息及び社債利息	9,037	5,724
社債発行費	2,119	—
株式交付費	8,975	—
株式報酬費用	—	8,711
新株予約権発行費	—	2,385
違約金	6,000	—
関係会社清算損	1,641	—
ポイント還元収入	△2,091	△886
物品売却益	△302	△129
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額（△は増加）	250,711	286,065
棚卸資産の増減額（△は増加）	△574	△84,227
未収入金の増減額（△は増加）	△1,942	△60,425
仕入債務の増減額（△は減少）	△113,148	16,907
未払金の増減額（△は減少）	△905,928	153,905
前受金の増減額（△は減少）	△25,556	△48,636
その他	262,079	△134,120
小計	△350,169	308,016
利息及び配当金の受取額	13	70
利息の支払額	△8,596	△6,361
違約金の支払額	△6,000	—
ポイント還元金の受取額	2,091	886
法人税等の支払額	△2	△3,722
法人税等の還付額	31,424	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△331,237	298,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600,000	△180,000
定期預金の払戻による収入	340,000	440,000
有形固定資産の取得による支出	△3,543	△9,886
有形固定資産の売却による収入	—	126
敷金及び保証金の差入による支出	△23,588	△2,004
敷金及び保証金の回収による収入	32,595	—
その他	△622	129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,159	248,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△248,617	△235,820
社債の発行による収入	197,880	—
社債の償還による支出	△226,000	△258,000
株式の発行による収入	429,044	2,000
新株予約権の発行による収入	—	5,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,308	13,444
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△434,088	560,697
現金及び現金同等物の期首残高	1,203,499	769,411
現金及び現金同等物の期末残高	769,411	1,330,108

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(注) 2024年9月1日より、従来「エンターテインメントサービス事業」としていたセグメントの名称を「モバイルゲーム事業」に変更しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	247.57円	284.40円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△98.45円	36.26円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	36.22円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△236,130	92,261
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)	△236,130	92,261
普通株式の期中平均株式数(株)	2,398,447	2,544,613
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	2,349
(うち新株予約権(株))	(－)	(2,349)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	新株予約権5種類(新株予約権 の数101,024個(普通株式 154,484株))。	新株予約権5種類(新株予約権 の数70,421個(普通株式199,022 株))。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。